

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2021年1月14日
【四半期会計期間】	第56期第3四半期（自 2020年9月1日 至 2020年11月30日）
【会社名】	株式会社フェリシモ
【英訳名】	FELISSIMO CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 矢崎 和彦
【本店の所在の場所】	神戸市中央区浪花町59番地
【電話番号】	(078)325-5555(代表)
【事務連絡者氏名】	財務部長 栗林 宏行
【最寄りの連絡場所】	神戸市中央区浪花町59番地
【電話番号】	(078)325-5555(代表)
【事務連絡者氏名】	財務部長 栗林 宏行
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第55期 第3四半期連結 累計期間	第56期 第3四半期連結 累計期間	第55期
会計期間		自2019年3月1日 至2019年11月30日	自2020年3月1日 至2020年11月30日	自2019年3月1日 至2020年2月29日
売上高	(百万円)	20,926	24,466	28,607
経常利益	(百万円)	156	1,155	365
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	(百万円)	158	936	365
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	185	957	391
純資産額	(百万円)	16,959	17,669	17,162
総資産額	(百万円)	31,163	33,059	31,076
1株当たり四半期(当期)純利 益金額	(円)	22.83	141.87	52.57
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	54.4	53.4	55.2

回次		第55期 第3四半期連結 会計期間	第56期 第3四半期連結 会計期間
会計期間		自2019年9月1日 至2019年11月30日	自2020年9月1日 至2020年11月30日
1株当たり四半期純利益金額又 は1株当たり四半期純損失金額 ()	(円)	3.58	26.93

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第55期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第55期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 第56期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間（2020年3月1日～2020年11月30日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により急速な悪化が続いており、厳しい状況にありました。また、個人消費は持ち直しの動きが見られるものの、同感染症の拡大が懸念される中、景気は依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境の中、当社グループは経営理念である「しあわせ社会学の確立と実践」のもと、主力事業である定期便事業の構造強化と次代を担う新たな事業の育成に取り組んでまいりました。

定期便事業においては、同感染症の終息が不透明な中においても、日々の暮らしをより豊かに楽しめるよう、引き続き顧客との共感を基点とした継続的な関係性を重視するマーケティングを推し進めてまいりました。当第3四半期連結累計期間におきましては、「Live in comfort（リーブ イン コンフォート）」や「Sunny clouds（サニークラウド）」といったファッションブランドの売上げが前年同期を大きく上回りました。また、独創性溢れる商品企画や各種マーケティング施策が奏功したことにより、生活雑貨全体の売上げも前年同期比で大きく伸びました。中でも、おうち時間を快適に過ごすための生活雑貨商品やルームウェア商品の売上げが大きく増加するとともに、身に付けるだけで姿勢美人になれる「ヨガ気分ブラ」をはじめとするインナー商品や、毎日の暮らしにゆとりを与えてくれる日常服ブランド「frauglatt（フラウグラット）」などの売上げも前年同期に比べて増加いたしました。さらに、オリジナル手芸キットで手作りを楽しむ「Couturier（クチュリエ）」商品の売上げにつきましても、当累計期間を通して好調に推移いたしました。顧客数につきましては、ニーズの変化に対応した商品企画や各種メディアを積極活用した効果的なプロモーションにより、新規顧客数及び過去購買顧客の再購入数や継続顧客数が前年同期に比べて大幅に増加いたしました。

新規事業分野においては、当社の保有リソースや資産を活用した物流及びEC支援事業が前年同期に比べて売上げを大きく伸ばさせました。また、当社の定期便プラットフォームに取引先事業者が出品・出稿できる「FELISSIMO PARTNERS（フェリシモパートナーズ）」事業の売上げも、前年同期を上回りました。

これらの活動の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は24,466百万円（前年同期比16.9%増）となり、前年同期を大きく上回りました。また、返品調整引当金繰入額及び戻入額調整後の売上総利益は13,268百万円（前年同期比18.0%増）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、売上げの増加に伴う販売費の増加や減価償却費等の設備費が増加したことにより、12,079百万円（前年同期比8.3%増）となりました。これらの結果、営業利益は1,189百万円（前年同期比1,122.6%増）となりました。

営業外損益では、受取利息等による営業外収益を62百万円計上した一方、為替差損等による営業外費用を97百万円計上したことにより、経常利益は1,155百万円（前年同期比638.7%増）となりました。税金等調整前四半期純利益は1,145百万円（前年同期比596.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は936百万円（前年同期比490.4%増）となりました。

財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,983百万円増加し、33,059百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加743百万円、季節的要因による売掛金の増加622百万円及び商品の増加586百万円に対して、合同運用指定金銭信託の償還による有価証券の減少が796百万円となったことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ1,476百万円増加し、15,390百万円となりました。これは主に季節的要因による支払手形及び買掛金の増加426百万円、電子記録債務の増加252百万円、支払信託の増加203百万円及び賞与引当金の増加179百万円となったことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ507百万円増加し、17,669百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加902百万円に対して、第1四半期連結会計期間に実施した自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による自己株式の増加415百万円となったことによるものであります。

(2) 経営方針、経営戦略並びに事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの経営方針、経営戦略並びに事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,427,200
計	33,427,200

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年11月30日)	提出日現在発行数(株) (2021年1月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,043,500	10,043,500	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	10,043,500	10,043,500	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
2020年9月1日～ 2020年11月30日	-	10,043,500	-	1,868	-	4,842

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年8月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,520,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,518,200	65,182	-
単元未満株式	普通株式 4,500	-	-
発行済株式総数	10,043,500	-	-
総株主の議決権	-	65,182	-

【自己株式等】

2020年11月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社フェリシモ	神戸市中央区浪花町59番地	3,520,800	-	3,520,800	35.05
計	-	3,520,800	-	3,520,800	35.05

(注) 当社は2020年4月21日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式取得に係る事項を決議し、2020年4月22日に東京証券取引所における自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)によって427,000株を取得いたしました。その結果、当第3四半期会計期間末日現在の自己株式数は3,520,802株となっております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年9月1日から2020年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,316	16,060
売掛金	2,729	3,352
有価証券	2,042	1,246
信託受益権	629	578
商品	3,894	4,480
貯蔵品	44	43
その他	771	721
貸倒引当金	38	42
流動資産合計	25,391	26,441
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	422	428
土地	1,946	1,946
その他(純額)	1,054	1,809
有形固定資産合計	3,423	4,184
無形固定資産		
投資その他の資産	863	1,009
投資有価証券	1,158	1,176
その他	239	248
投資その他の資産合計	1,398	1,424
固定資産合計	5,685	6,618
資産合計	31,076	33,059
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,113	1,540
電子記録債務	2,167	2,020
支払信託	2,392	2,595
1年内返済予定の長期借入金	-	3,000
未払法人税等	48	238
販売促進引当金	215	222
賞与引当金	155	334
その他の引当金	47	100
その他	1,679	2,009
流動負債合計	7,420	12,062
固定負債		
長期借入金	3,000	-
退職給付に係る負債	3,059	3,037
その他	434	289
固定負債合計	6,493	3,327
負債合計	13,913	15,390

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,868	1,868
資本剰余金	4,841	4,841
利益剰余金	13,444	14,347
自己株式	3,033	3,449
株主資本合計	17,121	17,607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	26
繰延ヘッジ損益	2	8
退職給付に係る調整累計額	17	44
その他の包括利益累計額合計	40	61
純資産合計	17,162	17,669
負債純資産合計	31,076	33,059

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	20,926	24,466
売上原価	9,661	11,143
売上総利益	11,265	13,323
返品調整引当金戻入額	71	43
返品調整引当金繰入額	87	97
差引売上総利益	11,248	13,268
販売費及び一般管理費	11,151	12,079
営業利益	97	1,189
営業外収益		
受取利息	32	17
受取家賃	8	8
受取補償金	7	4
その他	26	32
営業外収益合計	75	62
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	14	84
持分法による投資損失	0	10
その他	0	0
営業外費用合計	16	97
経常利益	156	1,155
特別利益		
持分変動利益	8	-
特別利益合計	8	-
特別損失		
関係会社株式評価損	-	9
特別損失合計	-	9
税金等調整前四半期純利益	164	1,145
法人税、住民税及び事業税	3	208
法人税等調整額	2	-
法人税等合計	5	208
四半期純利益	158	936
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	158	936

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	158	936
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	4
繰延ヘッジ損益	0	10
退職給付に係る調整額	24	27
その他の包括利益合計	27	21
四半期包括利益	185	957
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	185	957
非支配株主に係る四半期包括利益	0	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 当座貸越契約

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。

この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
当座貸越極度額	1,000百万円	7,000百万円
借入実行残高	-	-
差引額	1,000	7,000

2. 四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、前連結会計年度末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。前連結会計年度末日満期手形等の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
支払手形	90百万円	- 百万円
電子記録債務	482	-
支払信託	764	-

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
減価償却費	198百万円	292百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月29日 定時株主総会	普通株式	34	5	2019年2月28日	2019年5月30日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月28日 定時株主総会	普通株式	34	5	2020年2月29日	2020年5月29日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2020年4月21日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得及びその具体的な取得方法として東京証券取引所における自己株式立会外買付取引(ToSTNeT 3)による買付けを行うことを決議し、2020年4月22日に自己株式を取得いたしました。

これにより、当第3四半期連結累計期間において自己株式が415百万円、自己株式数が427,000株それぞれ増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

当社グループは、服飾・服飾雑貨及び生活関連商品を中心とした通信販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	22円83銭	141円87銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	158	936
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	158	936
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,949	6,603

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年1月14日

株式会社フェリシモ

取締役会 御中

P w C あらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	川原光爵
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	北野和行

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フェリシモの2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年9月1日から2020年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フェリシモ及び連結子会社の2020年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。